

会 議 録

会 議 名	令和6年度第4回野田市コミュニティバス等対策審議会
議題及び議題ごとの公開又は非公開の別	(1) まめバス新運行の利用状況について(報告) (2) 交通不便地域対策について(報告)
日 時	令和7年2月17日(月) 午後1時30分から午後2時30分まで
場 所	市役所低層棟4階 委員会室
出席者氏名	【委員】 会 長 寺部 慎太郎 副会長 小林 幸男 本田 正則、小俣 文宣、須賀田 貞彦、澤田 岳典、大塚 雅広 【事務局】 金田 昌丈(企画財政部長)、 中村 正則(企画財政部次長(兼)企画調整課長)、 塚越 貴浩(企画調整課長補佐)、 中村 憲一(企画調整課企画調整係長)、 中里 優也(企画調整課企画調整係主事)、 戸邊 卓哉(PＲ推進室長)、岡田 勇貴(障がい者支援課長)、 山口 忠司(高齢者支援課長)
欠席委員氏名	染谷 則夫、小出 稔之、有賀 ヒメ子
傍 聴 者	3名
議 事	令和6年度第4回野田市コミュニティバス等対策審議会の会議結果(概要)は、次のとおりである。
1 開会 企画調整課長 開会を宣言する。 企画調整課長 本日の会議は、委員数10名のところ7名が出席し、委員の半数以上が出席しているので、野田市コミュニティバス等対策審議会条例第6条第2項により、成立していることを報告する。会議の公開について、個人情報等の不開示情報を取り扱うことがないため原則、公	

開とすることを報告する。

企画調整課長 傍聴希望者が3名おり、傍聴を許可していることを報告する。

2 議事

議題（１） まめバス新運行の利用状況について（報告）

寺部会長 「まめバス新運行の利用状況について」事務局に報告をお願いする。

<事務局報告>

- ・資料①1 ページについて、新運行となった令和6年10月1日から令和7年1月31日までの4か月間の全体的な利用状況は、令和5年の同時期4か月間と比較して、利用者は350人の減、1便当たりでは0.02人の減となっていること。
- ・基本的には、便数の増減が利用者の増減につながっていると考えられ、増便ルートは増加、減便ルートは減少していること。
- ・増減のないルートのうち、(3)関宿イオン及び(12)新南ルートは利用者が増加しており、(1)関宿城及び(4)新北ルートは利用者が減少していること。
- ・利用者減少の要因として、(1)関宿城ルートは、午後の2便を朝日バスへの乗り継ぎをするように、はやま工業団地で折り返しとしたこと、(4)新北ルートは、国道16号以北のルート見直しにより、以前より人口密度の低いルートを通るようにしたことの影響が考えられることから、乗り継ぎできることを案内するなど、利用促進策を検討していくこと。
- ・2ページについては、ルートの変更により新たに設置した停留所と乗り入れを増やした病院の停留所の利用状況についてまとめていること。
- ・調査は各運行事業者をお願いしており、関宿のルートについては、事業者から年末でもあり人手が足りないとの話もあり、平日1日と日曜日の2日間、野田のルートは1週間の結果となっており、欄内の数値は乗車と降車の合計となっていること。
- ・新設したバス停について、関宿地域の2か所については全て利用なしとなっているが、データが少なく全体状況がつかめないため、改めて事業者へ1週間通して調査できるよう依頼して状況の確認を行いたいこと。
- ・野田地域の新設バス停については、特に住宅街に設けたプラタナス通りの2か所及び「つつみ野住宅」、2ルートが乗り入れる「花井ポンプ場前」の利用が多く見られること。
- ・3ページについて、病院バス停については、新たに乗り入れを増やした野田病院及びキッコーマン総合病院を対象に調査したところ、日曜日は少ないものの、土曜日を含めた平日は一定の

利用者がいること。

- ・ 4 ページについて、運行見直し後の利用者の声として、時間の変更や折り返し運行により減便となる区間において影響を受けたという声を頂いており、このほかに資料には記載していないが、まめバスが通らなくなった地区の方からの意見、新運行に伴って日常的に利用される方からのまめバスの行き先や時間を尋ねる問合せを頂いていること。
- ・ 令和6年度のまめバスの利用状況について、4月から1月末現在での利用状況は、前年度より2,462人の増加となっていること。
- ・ ルート別では、(7)中、(8)中根及び(12)新南ルートで1,000人以上の増加、(6)堤台及び(11)南循環ルートで1,000人以上の減少と大きな動きが見られること。
- ・ 月別の利用者数については、年度前半の4月から9月にかけては、8月を除き前年度より300から900人ほどの増加となっており、新運行計画となった10月は728人の減少があったが、11月以降は前年度より利用者が増えており、10か月間では2,462人の増加となっていること。
- ・ 新運行により一時的に利用者の減少はあったが、コロナ禍で落ち込んだ利用者数が回復してきていると考えており、また、新運行の効果として利用者数、1便平均利用者数が増加しており、減便したルートにおいても1便平均利用者数の増加傾向が見られること。
- ・ 一方で、便数は変わらないものの利用区間の変更により利用者数、1便平均利用者が減少しているルートもあるため、利用者の拡大に向けた周知を続けていくこと。

【質問・意見】

澤田委員 関宿地域に新設したバス停と病院バス停の利用状況調査を改めて依頼するとのことだが、いつ頃を予定しているか。年度末は忙しいため、4月以降に依頼してはどうか。

企画調整課長 4月以降に調査を実施できるよう運行事業者と調整する。

寺部会長 野田地域も同じ時期に再度調査をするのか。

企画調整課長 野田地域についても同様に調整する。

本田委員 資料①2、3ページの調査日数の差は運行事業者が異なるためか。

企画調整課長 (1)関宿城、(2)関宿七光台及び(3)関宿イオンルートは朝日自動車、その他の

ルートは茨城急行自動車が運行している。本来は同時期に調査を実施したかったが、運行事業者によって実施可能な日が異なっていたため同時期の調査ができなかった。

大塚委員 ルート図・時刻表の(1)関宿城ルートについて、関宿はやま工業団地で朝日バスへ乗り継ぎができるが、「朝日バスとの接続あり」等の文言を時刻表に入れることはできなかったのか。また、他市ではコミュニティバスから路線バスに乗り継いだ際に運賃の割引をしている事例があるため、野田市でも(1)関宿城ルートのはやま工業団地で朝日バスに乗り継ぐ場合に限定して割引を検討してはどうか。

企画調整課長 ルート図・時刻表の(1)関宿城ルートの表記については次回の改正の際に検討する。また、コミュニティバスから路線バスに乗り継いだ際の割引についても他市の事例を調べて検討する。

大塚委員 10月1日に関宿はやま工業団地のバス停に行ってみたが、ベンチがなかったため、ベンチを設置すると長時間待つことができて良いのではないかな。

寺部会長 ルート図・時刻表に乗り継ぎについての記載をする場合、どのように記載するのが良いかな。

大塚委員 関宿城博物館方面から関宿はやま工業団地までまめバスを利用し、関宿はやま工業団地から川間駅方面へ朝日バスを利用する場合には、朝日バスとの接続があること及び問合せ先を、川間駅方面から関宿はやま工業団地まで朝日バスを利用し、関宿はやま工業団地から関宿城博物館方面へまめバスを利用する場合にはうまく乗り継げる朝日バスの時刻を記載すると良いと思う。しかし、朝日バスの時刻改正があった場合に対応できないという課題がある。

寺部会長 時刻表のバス停名右側に記載している他ルートへの乗換えの番号のように、朝日自動車であれば「朝」、茨城急行自動車であれば「茨」のように文字を四角で囲んで記載してはどうか。

大塚委員 野田市に隣接する茨城県境町では、外国人が多く住んでいるため、漢字の表記は理解が難しいのではないかな。国土交通省でも、バスの運行系統はアルファベットや数字を使用する

ことを推奨しているため、外国人への配慮は必要だと思う。

大塚委員 資料①2ページ「つつみ野住宅」、「花井ポンプ場前」バス停について、利用状況にあるとおり、住宅街の中をまめバスが運行するようになったインパクトは大きいように感じる。

議題（２） 交通不便地域対策について（報告）

寺部会長 「交通不便地域対策について」事務局に報告をお願いする。

<事務局報告>

- ・資料②5ページについて、前回の審議会において、高齢者等の日常生活における移動の利便性向上を図るため、病院送迎バスの定期ルートに合わせた混乗運行について、キッコーマン総合病院、野田病院及び小張総合病院と運行方法、費用負担や課題などについて協議を進めていることを報告したこと。
- ・キッコーマン総合病院及び野田病院については、協議が整ったため、令和6年12月25日に協定締結式を行い、令和7年3月から運行を開始することとなったこと。
- ・小張総合病院については、経営母体が代わることで協議が保留となっていたが、2月1日から野田総合病院として稼働しており、改めて協議を行いたい旨を伝えているため、早い時期に事業がスタートできるよう進めていくこと。
- ・本事業の利用対象者は、市内在住の75歳以上の方及び障がいのある方で、パスカードの交付を受けた方となること。
- ・2月1日から利用申請を受け付けており、2月14日現在で、72名の方に交付していること。
- ・利用可能時間は、月曜日から金曜日の病院発が午前10時から午後5時までの便となること。
- ・利用方法は、各病院の運行ルート上の指定場所で乗り降りが可能となり、運賃は無料としていること。
- ・利用可能な病院送迎バスは、キッコーマン総合病院が4ルート10便、野田病院が5ルート16便の合計9ルート26便となること。
- ・ルート図及びバス停については、利用の手引きに示していること。

【質問・意見】

澤田委員 病院送迎バスの利用の際には予約は必要か。

企画調整課長 予約は不要だが、事前にパスカードの申請をし、交付を受ける必要がある。基本的に既存の病院送迎バスとルートは同じであり、パスカードがあれば途中で買物をしたいときなどに病院以外の目的地で降車できる。既存の病院送迎バスの空席がある時間帯での移動支援となっている。例えば、行きは最寄りのバス停からイオンタウンまで乗車し、帰りはイオンタウンから最寄りのバス停まで乗車するといったような利用ができる。

澤田委員 手を挙げたらバスは停車してくれるのか。

企画調整課長 決められた停留所のみでの乗降となる。バス停の標識等があるわけではないが、目安として利用の手引きの地図上にバス停を示している。

大塚委員 柏市のイオン柏店では、柏駅、南柏駅のそれぞれの駅からイオン柏店まで直行する2ルートの無料バスと、イオン柏店を出発して市内を循環し、イオン柏店に戻る4ルートの無料バスがある。バス停の標識等はなく、店内ではバスの情報をチラシ等で周知している。また、柏市のデマンド交通では、バス停の標識等はないが、電柱や民家の壁にバスの時刻を貼り付けている事例を聞いたことがある。

寺部会長 イオン柏店のバスはどこでも乗降できるのか。

大塚委員 どのバスも決められた停留所のみでの乗降となる。利用方法としては、最寄りのバス停からイオン柏店まで利用する際には、イオンカードやWAONカード等を提示し、イオン柏店から最寄りのバス停まで利用する際にはイオン柏店で発行されたレシートを提示する。

寺部会長 通院している方なら乗降場所が分かりやすいが、利用したことがない方もいるため、そういった方が利用しやすくなるような方法を検討する必要がある。

本田委員 利用の手引きに野田病院の関宿ルートが記載されているが、キッコーマン総合病院についても関宿ルートを新たに設定する予定はあるか。

企画調整課長 既存の病院送迎バスの空席を活用した事業となるため、各病院にルートの拡大を打診したことはない。

小林委員 手引きに記載された時間以外にも便はあるのか。

企画調整課長 便はあるが空席がないと聞いているため、運行時間を限定している。

3 その他

大塚委員 参考資料として、流山市と吉川市の広報誌を配布させていただいた。どちらの記事も公共交通に関する記事となっている。流山市については、公共交通が金銭的に便利であることを周知した記事となっている。吉川市については、流山市と同じく金銭的な便利さのほかに、環境への配慮や健康の維持等の公共交通を利用することでのメリットを周知した記事となっている。野田市でもこのような記事を作成すると良いのではないかな。

大塚委員 昨年の11月12日に吉川市の地域公共交通協議会を傍聴した際に、野田市の話が多く出ていた。内容としては、福祉タクシーを利用して野田市のキッコーマン総合病院や野田総合病院、石井医院を利用する方がいるという内容だった。他市ではそういった事例があるということを確認してもらいたいため、お話しさせていただいた。

企画調整課長 まめバス車内でのデジタルサイネージの表示について、これまでは市の行政情報やイベント情報、市内事業者の広告等を紙媒体で掲示していたが、今後は原則として紙媒体での掲示は廃止し、デジタルサイネージでの情報発信に切り替える予定である。現在各車両への設置を進めており、準備が整った車両から順次配信を開始する。

企画調整課長 委員の委嘱について、本日をもって現在の委員の委嘱期間が終了となる。まめバスの見直しについての審議は、本日報告した新運行計画開始後の利用状況の報告をもって一区切りとさせていただき、令和7年度は新たに委員を委嘱し、令和9年の新運行計画の策定に向けて審議していただくことを予定している。現在の委員の皆様におかれては、これまで長期にわたってまめバスの見直しについて審議いただいたことに感謝申し上げます。

4 閉会

寺部会長 令和6年度第4回野田市コミュニティバス等対策審議会を閉会する。